



公益社団法人  
新潟県畜産協会

新潟市西区山田字堤付2310-15  
全農にいがた第2ビル内  
TEL. 025-234-6781  
~6783



## 特集 牛枝肉価格下落を受けて



「新しい生活様式」対応のため  
全国会議はリモート開催にシフトしています。  
(協会相談室で撮影)



### 目 次

- 特集 牛枝肉価格下落を受けて
- ◆肥育牛経営等緊急支援特別対策事業  
(肥育生産支援事業) ..... (2)
- ◆優良肉用子牛生産推進緊急対策事業 ..... (3)
- ◆CSF陽性イノシシが県内でも  
発見されています ..... (4)
- ◆牛マルキン登録生産者の  
手数料助成の継続について... (4)
- ◆牛群検定と繁殖台帳  
Webシステムのすすめ ..... (5)
- ◆にいがた和牛キャンペーン結果報告 ..... (6)

- ◆家畜が係わる伝統行事の  
情報提供について ..... (6)
- ◆声のコーナー ..... (7)  
「牛を見ることは大切」  
長岡市 田口ファーム従業員 山田 紗知  
「やりがいのある仕事」  
新潟市西蒲区 川作ファーム株式会社従業員 佐野 由季
- ◆畜産安心ブランド生産農場だより ..... (8)
- ◆ちくさん女子の窓 ..... (8)
- ◆編集後記 ..... (8)

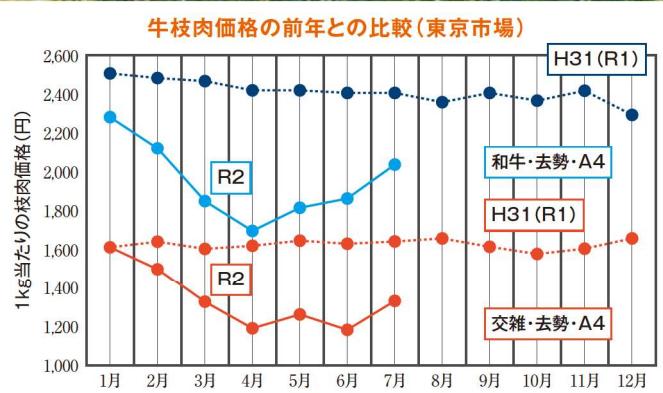
特集

# 牛枝肉価格下落を受けて

## 概要

令和2年に入ってから、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴う外食自粛等消費低迷の影響を受けて、和牛を中心とした牛枝肉価格が大きく下落し、未だ昨年の水準には戻っていません(右図参照)。

当協会では肉用牛経営体の経営改善のため、肉用牛肥育経営、繁殖経営を対象にした二つの事業に着手いたしましたので、内容について紹介します。



## 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業(肥育生産支援事業)

### 事業の内容

公益社団法人中央畜産会から業務の委託を受け、肉用牛肥育経営の体質強化を図るために経営強化計画を策定して優良な肥育牛生産のための取組を行った経営に対して、出荷頭数に応じて奨励金を交付します。

新潟県内では77戸が経営強化計画を策定し、事業に参加しています。

### 交付対象牛

本事業は、牛マルキンの対象牛のほか、以下の牛についても3ヶ月以上再肥育されたものは奨励金交付の対象となります。

#### ① 繁殖雌牛

##### \* 育成期間の考え方

1. 最終分娩後、授精が無い場合  
→ 最終分娩から販売日まで
2. 経産牛を購入後、分娩・授精が無い場合  
→ 農場への導入日から販売日まで
3. 最終分娩または経産牛導入ののち、授精を行った場合  
→ 最終授精が獣医師により不受胎と診断された日の翌日から販売日まで

#### ② 摾乳牛のうち、305日の撈乳を終えたもの

#### ③ 未経産の不受胎牛

上記要件を満たす牛のうち令和2年4月7日～令和3年3月31日に販売した牛が対象です。

### 奨励金単価

出荷頭数1頭当たりの奨励金交付額は、①経営強化計画における優良な肥育牛生産のための取組の項目数及び②全国枝肉平均価格の前年同月比の下げ幅に基づき毎月品種別に算定されています。

原則は出荷頭数1頭につき2万円となります。ただし、①優良な肥育牛生産のための取組として、飼料分析・血液分析・肉質分析・畜舎の環境改善・経営分析の5項目のうち3項目以上に取り組んでいる経営においては、②全国枝肉平均価格が前年同月比30%の減であった場合4万円、40%の減であった場合5万円が代わりに交付されます。

現在のところ、全ての畜種で枝肉単価が前年度比30%以上減となったことが無いため、各月の奨励金単価は全畜種2万円となっています。各月の奨励金単価は(独)農畜産業振興機構によって公表されています(\*)。

#### 1頭当たり奨励金単価

販売時期	肉専用種	交 雜 種	乳 用 種	その 他
4月分			2万円	
5月分			2万円	
6月分			2万円	
7月分			2万円	

\*参考HP:

「新型コロナウイルス感染症に係る  
畜産支援対策について」

[https://www.alic.go.jp/c-kanri/shinko01\\_000896.html](https://www.alic.go.jp/c-kanri/shinko01_000896.html)



## 奨励金の交付スケジュール

### マルキンに加入していない牛の場合

マルキン加入牛以外の牛については、上半期販売分（令和2年4月～9月）を下記のとおり1回にまとめて交付することを予定しています。

対象牛の出荷があった場合、奨励金交付額の算定のために当協会へ販売牛のデータと販売証明書を提出していただく必要があります。

上半期販売分の報告期限は当協会に令和2年10月30日必着となっております。早めの報告にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

### マルキンに加入していない牛の交付スケジュール

回 数	販 売 時 期	販 売 報 告 期 限	付 送 予 定 日
第1回	令和2年4月～9月分	令和2年10月30日	令和2年12月25日
第2回、第3回については後日お知らせします。			

### マルキン加入牛の場合

マルキン加入牛については、毎月のマルキン販売報告を基に奨励金交付額の算定を行うため、当協会に出荷報告を行う必要はありません。

現在までに令和2年4月～7月の4ヶ月分の出荷牛について奨励金の交付が完了しており、972頭、19,440,000円が交付されました。

今後の交付スケジュールは右のとおりです。

### マルキン加入牛の奨励金交付予定日

回 数	販 売 時 期	付 送 予 定 日	状 況
第1回	令和2年4～5月分		付 送 済み
第2回	6月分		
第3回	7月分		
第4回	8月分	11月2日	
第5回	9月分	12月2日	
第6回	10月分	令和3年1月5日	
第7回	11月分	2月3日	
第8回	12月分	3月3日	
第9回	令和3年1月分		後 日 お 知 ら せ し ま す。
第10回	2月分		
第11回	3月分		

## 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業

### 事業の内容

牛枝肉価格の下落に伴い、肉用子牛の価格が急落しており、生産者の意欲低下により肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されるため、経営改善に取り組む肉用子牛生産者を支援します。

経営改善の取り組みとして①畜舎環境の改善、②子牛の疾病的防止、③経営分析、④繁殖雌牛または子牛の栄養状態の改善、の4項目の内、2つ以上に取り組むことが事業参加の要件となります。

新潟県内では58戸の肉用牛繁殖経営が事業に参加しています。

### 奨励金交付の発動基準価格

品種区分ごとに、各月の全国平均価格が下記の発動基準価格を下回った場合に奨励金を交付します。

品種区分	発動基準① (1万円/頭)	発動基準② (3万円/頭)
黒毛和種	60万円	57万円
褐毛和種	55万円	53万円
その他の肉専用種	35万円	34万円
交雑種	30万円	29万円
乳用種	18万円	17万円

### 交付対象牛

肉用子牛生産者補給金制度に登録済みで、令和2年5月～12月に販売した子牛が対象です。

また、自家保留・本人取りした子牛は対象となりませんので、ご注意ください。

### これまでの発動実績

本事業は今まで発動実績はありません。

これまでの全国平均価格については（独）農畜産業振興機構のホームページにて公表されています。（前頁URL参照）

# CSF陽性イノシシが県内でも発見されています

## ～家畜防疫互助基金の紹介～

平成30年9月9日に、岐阜県の養豚農場において国内で26年ぶりにCSF(豚熱)の発生が確認されてから2年が経ちました。

新潟県においては、養豚関係者および家畜保健衛生所を始めとした関係機関の防疫に対する取組の効果もあり、幸いにして養豚農場における発生はありません。

一方で、野生イノシシについては県内でも令和2年の春からCSF感染が確認されており、4月24日に2頭の死亡個体で陽性が確認されて以降、8月25日までに10例で感染が確認されているほか、隣接する福島県でも9月8日(火)に初めて感染個体が確認されており、農場へのウイルス侵入リスクが高まっています。

当協会で加入を推進している家畜防疫互助基金は、加入者自らの積み立てに国が同額の補助を行うことで3か年の基金を造成し、万が一農場で法定悪性伝染病の発生があった場合に、経営再開に必要な経費等として①焼却・埋却等にかかる経費および②経営再開のための素畜導入にかかる資金を支援する制度です。

現在加入頂いている互助基金の契約は令和2年度で終了するため、年明けに新規契約についてご案内させていただく予定です。

加入者がお互いに契約金を支払って基金を積み立てる互助基金の性質上、なるべく多くの方に加入していくことが制度の安定につながります。積極的な加入について、ご検討いただければ幸いです。



県内陽性イノシシの発見場所(新潟県畜産課提供)

## 牛マルキン登録生産者の手数料助成の継続について

前号でお伝えした肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)登録生産者の手数料助成について、牛マルキン制度の負担金納付猶予が交付要綱の令和2年9月4日付け一部改正に伴い継続されることになったため、当協会の手数料全額助成についても継続することとします。

### 変更の内容

#### ● 対象範囲について

令和2年4月末から9月末日までに納付期限を迎える全ての登録肉用牛



令和2年4月末日以降に納付期限を迎える全ての登録肉用牛

# 牛群検定と繁殖台帳Webシステムのすすめ

## 概要

牛群検定は(一社)家畜改良事業団が実施している、専門の検定員が毎月1回酪農家を訪問し、1頭ごとの乳量、乳成分、繁殖、濃厚飼料給与状況などの基本情報を得て経営改善や生産性の向上に役立てる事業です。昭和50年に始まって以来今年で45周年を迎える本事業ですが、新潟県における加入率は25.7%（令和元年度速報）にとどまっており、全国平均の53.3%に比べて加入が進んでいないのが現状です。

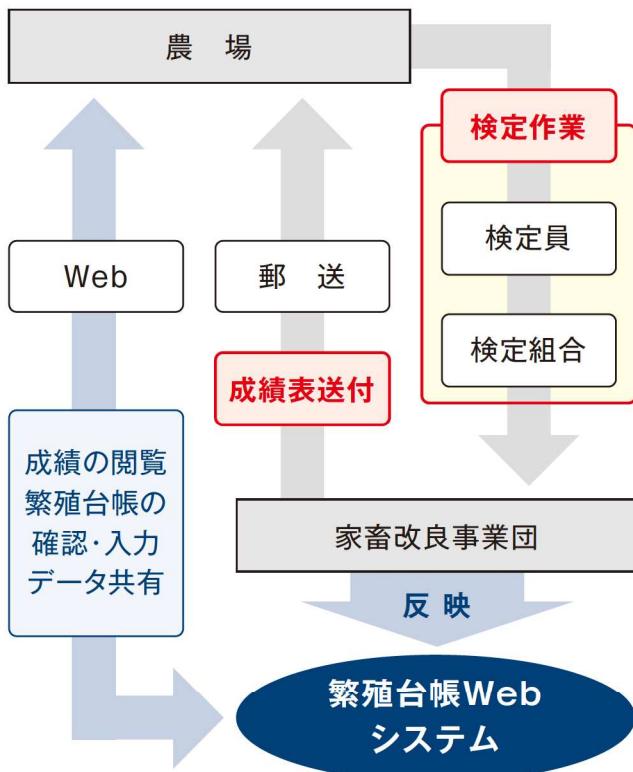
「検定料はかかるし、毎月1回検定作業をするのはとても大変だけれど、それだけのメリットがあるの？」と感じて加入をためらう方、やめてしまった方は多いのではないかと思います。

今回は、牛群検定に加入するメリットの一つとして、加入者は無料で利用することができる「繁殖台帳Webシステム」について紹介します。

## 繁殖台帳Webシステム

繁殖台帳Webシステムは、自宅のパソコンまたはスマートフォンなどからインターネットを通してリアルタイムに牛群検定成績のデータを利用できるシステムです。

### イメージ図



## Webシステムでできること

### 最新の検定成績の入手

繁殖台帳Webシステムは乳成分分析が終了した翌日には検定成績が更新されるため、牛群検定成績表が届くより早く最新の牛群検定成績を入手することができます。

### 繁殖スケジュールの管理

このシステムの特徴として、検定成績から自動的に授精日・分娩予定日などを読み込み、繁殖カレンダーを表示する機能があります。授精などの作業が終わった後、スマートフォンからカレンダーに記帳することで、常に最新の繁殖スケジュール管理を行うことが可能です。



\*体験版より出力。牛の番号を選択すると授精などの作業について記帳できる。

### 関係機関とのデータの共有

繁殖台帳Webシステムはインターネット上のサービスであるため、上記した最新の検定成績や自身で記帳した繁殖カレンダーについて、他人とデータを共有することが容易です。

例えば、遠方の関係機関と同一の画面を共有しながら、最新の牛群成績について協議することも可能です。

大きく分けて3つの使い方について紹介しました。他にも体細胞数管理・生乳生産量予測など多くの機能があります。下に家畜改良事業団の紹介ページを掲載します。他県における活用事例など、様々な情報が掲載していますので、興味を持たれた方はぜひご覧ください。

牛群検定事業への加入や繁殖台帳Webシステム導入について検討の一助となれば幸いです。

参考HP:  
一般社団法人家畜改良事業団  
「繁殖台帳Webシステム」  
<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/cd/cd-info.html>





# にいがた和牛を食べて元気をつけよう!

～キャンペーンを実施しました～

にいがた和牛推進協議会(事務局:畜産協会)は、新型コロナウイルス感染症の影響による和牛肉の消費が低迷していることから、和牛生産者や和牛肉販売業者の応援のため、「にいがた和牛」の消費拡大を目的とした『ちょこっと豪華なお食事を♪「にいがた和牛」を食べて元気をつけよう!キャンペーン』を実施しました。

このキャンペーンは、「にいがた和牛」精肉等の購入者や、「にいがた和牛」料理の飲食者を対象に、「にいがた和牛」精肉5,000円相当が抽選で150名に当たるもので、畜産協会が実施する新潟県畜産経営安定等緊急対策事業助成金と全国農業協同組合連合会新潟県本部の協賛を受けて7月13日から8月21日の約1か月間実施しました。

応募総数は1,354枚で、県内を中心に全国から応募があり、また、販売者からは『キャンペーンが実施されたことで、「にいがた和牛」を消費者に説明しやすく、販売促進に活用できた』等の反響がありました。

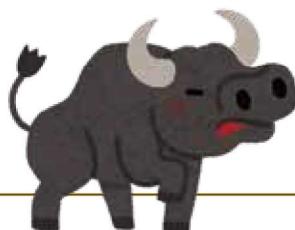


## 家畜が係わる伝統行事の情報提供について

馬事畜産振興協議会(事務局:公益社団法人中央畜産会)は、家畜が係わる伝統行事等保存推進事業として、全国各地の流鏑馬行事、馬力大会、草競馬大会、闘牛大会など馬、牛、鶏などの家畜が係わる様々な行事を紹介するホームページを開設しました。

当県からは山古志闘牛会、小千谷闘牛振興協議会の2団体がそれぞれ主催する、牛の角突きが紹介されています。両団体行事の歴史や魅力が、迫力のある写真と共に紹介されています。

紹介HP:  
馬事畜産振興協議会「家畜が係わる伝統行事」  
<https://dento-kachiku.jp/>



(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

## がんばる!畜産!3

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!  
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!  
配信中の内容: IoT技術の活用/農場HACCP/搾乳ロボット/他



◀スマートフォンからはこちら  
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社) 中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

声

## のコーナー

長岡市  
田口ファーム  
従業員 山田 紗知

従業員 山田 紗知

### 『牛を見ることは大切』

私は今年農業大学校を卒業後、3月から約1か月アルバイトとして、その後4月から従業員として田口ファームで働いています。

働き始めの1か月、始めのうちは分からぬことを人に聞き、確認しながらの作業だったのが少しづつ馴れ、牛の様子について気がつくことも増えました。

例えば、この牛舎では約20頭の牛たちを繋ぎ飼いで飼育しており、毎日朝・夕に除糞を行っています。牛の後ろや横など近い所での作業をしていると、餌を食べ終えるとすぐに座る牛やできる限り後ろに座る牛など、1頭1頭の特徴を知ることができ、いつもと行動が違う牛があれば何かあったのではないかと、体調やけがなどに早めの対応ができるようになります。

最初のころは、いつもと行動が違うことに気が付いていても、原因を突き止めることはできずに作業でいっぱいいっぱいになっていましたが、最近は作業にも慣れてきたため、牛に異変があれば原因を突き止めて対応すること、何か気になることがあれば些細なことでも報告することを心掛けています。

仕事として畜産に携わるようになり、ほぼ毎日、一日中牛舎にいるようになりました。大変なこともありますが、観ること、気が付くことが増えて、牛について知ることがとても楽しいです。これからは、まだ任されていない仕事を覚えていくことや、牛の体調やケガを未然に防げる管理ができるよう、牛舎の環境をより良くすることに努めています。

新潟市西蒲区  
川作ファーム株式会社  
従業員 佐野 由季

従業員 佐野 由季

### 『やりがいのある仕事』

私は、新潟市西蒲区で養豚業を営む川作ファーム株式会社に入社し、今年で3年目になります。小さい頃から身近に動物がいたこともあり、動物好きで、将来は、動物と関わる仕事に就きたいと考えていました。

高校は農業高校に進学し、そこで初めて豚と出会いました。

最初、畜産動物には、あまり興味がなくて特に何も考えていませんでしたが、畜産実習を通じ、自分達で生き物を育て、命をいただく事で命の尊さを学びました。

中でも高校の文化祭で自分達の育てた豚肉を販売した時にお客さんから「美味しかったよ。」と声をいただいて、とても嬉しかったのを今でも覚えています。高校を卒業して縁があり、今の会社に入社しました。

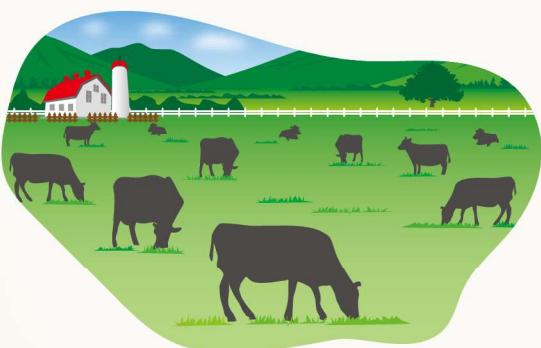
入社してからは、分娩舎という主に豚の分娩管理、哺乳期の子豚の管理をする担当になりました。分娩の数は高校での実習の比ではない程に多く、最初は体力的にも精神的にもとても辛かったです。分娩中の母豚が死んでしまった時は、その日一日苦しく泣いてしまった時もありました。ですが、子豚が大きく元気に成長すると、とてもやりがいを感じ、自分で工夫して考えて行動する事で豚が応えてくれるのが、今はとても嬉しいです。

入社して3年目になりますが、毎日新しい事の発見で、とても勉強になります。特に気にしている事は、もし自分が豚の立場だったらと考えるようにする事です。豚舎に入ると豚にとって適切な環境だろうかなど、少しでも豚が快適に過ごせる様に考えています。

将来は、今まで学んで来たことを活かして、豚について指導のできる人になりたいです。

今は社会人としても豚の管理者としても、まだまだ未熟ですが、やりがいがあるこの仕事が好きです。それに豚はとても可愛いので、豚が喜んでいると私も笑顔になれます。

これからも経験と知識を活かして日々精進していきたいです。畜産関係者の方や農家の方々には、これからたくさんお世話になると思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。





## ブランド生産農場だより

佐渡市：岡崎 彰弘

昭和50年代前半に父が酪農家から肉用牛の飼養に経営変更し、16頭規模の黒毛和種繁殖牛の飼養を始めました。育成牛を飼養し、旧羽茂町の肉用牛肥育農家に出荷していました。私は父の手伝いとして、飼料給餌や除糞などの作業を行っていましたが、昭和60年頃に肥育牛の飼養も行うようになりました。その後、父から農場を受け継ぎました。今は柿や水稻の栽培をしながら、繁殖5頭、肥育6頭、子牛4頭と小規模ではありますが、年間5頭程度を肥育出荷しています。

実際に当事者となって飼養管理を行うと、分娩時の難産で子牛を死亡させてしまったり、妊娠牛が分娩後に牛白血病を発症したり、つらい思いをしたこともあります。また、牛を農場に残し、島外に出かけることや休暇取得がとても難しく、その点については、肉用牛の管理を行うヘルパー制度の必要性を日々感じています。繁殖牛の血統に関しては、産子の肥育成績が良好であった母牛とその雌産子を残していくと共に、今後は他農場のET産子導入も視野に、農場の後継牛として育成したいと考えています。

最後に今年から家畜保健衛生所の指導もあり、子牛を含めた肥育牛の血液検査などを行い、飼料給与方法を含めたVAコントロールについて検討し始めています。これまで以上に、肥育成績向上を目指した飼養管理を行うとともに、安全・安心な畜産物の提供に努めることで、佐渡産の牛肉やにいがた和牛ブランド力の向上につながればと考えています。



### 編集後記

「新しい生活様式」という言葉が世の中に生まれてはや5ヶ月が経ちました。週末も外に出るのは気おくれがして、家にこもりがちな毎日が続いています。

とはいっても一人の時間が増えるというのは悪いことばかりではなく、新しい世界の扉を叩く良いきっかけにもなるというもの。今まで興味のなかったジャズを聴くようになりました。個人的なおすすめはジェリー・マリガンの「ナイト・ライツ」。情緒たっぷりなサックスの音色に、少し大人になった気分を味わいながら、秋の夜長を過ごしています。

(編集担当：真保)



養鶏：坂井 ひより  
(新潟市秋葉区)

6次産業化の加工施設で働き始めて3年目になりました。

休みの日には地元の農業女子サークルの畑作業や、実家の畑の作業を手伝い、リフレッシュしています。

以前はお菓子やパンを焼くのが好きで、よく作っていたのですが、最近ではお味噌や梅干しなども作るようになりました。

畑も、手作りの発酵食品作りも、祖母が当たり前のように作っていたなあと思い出します。

現在、実家の養鶏場では無花果の栽培にも力を入れており、昨年には“いしづ農園”として平飼い卵と完熟無花果直売所の看板をあげました。

昨年はほとんどお店を開けられなかつたので、今年こそは開けられると良いのですが。

新潟市秋葉区国道460号線沿いの、にっこりマークが目印です。私も店番をしているかもしれませんので、ぜひ遊びにきてくださいね。

